

訓練カリキュラム

訓練実施機関名: 特定非営利活動法人 福祉活動と福祉教育の推進協会 あすなろ

訓練実施施設名: NPO法人あすなろ ふくしの学校 福島駅前教室

問合せ先住所: 〒 5 5 3 - 0 0 0 3

大阪府大阪市福島区福島5-14-6福島阪神クレセントビル3階

問合せ電話番号: 06-6451-4400

■土日祝日訓練の有無:

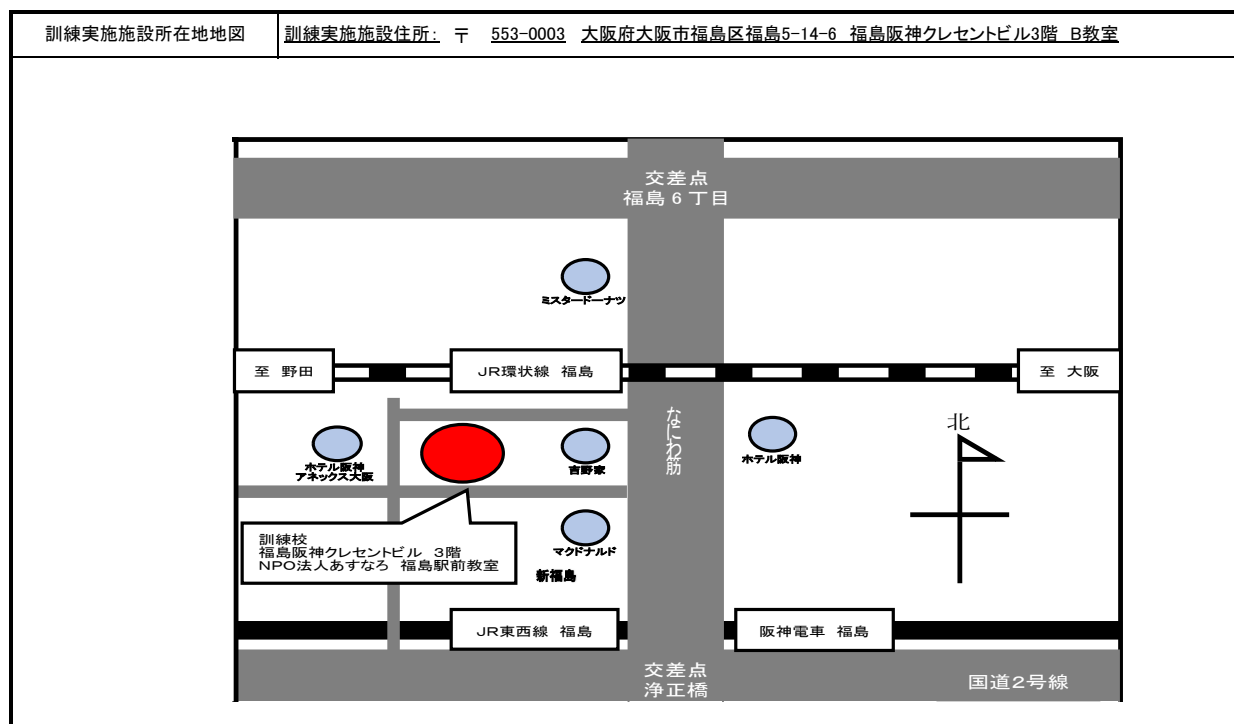
■法定講習に係る補講:

■相モデルによる訓練:

■合同開催による訓練:

☐	全日あり	/	☐	一部あり	/	☐	なし		
☐	あり		☐	なし	/	☐	有料	☐	無料
	☐	あり		☐	なし		☐	なし	
	☐	あり		☐	なし		☐	なし	

訓練の種類	☒	実践コース (05 介護・医療・福祉分野)			就職を想定する職業・職種 訪問介護職員、施設介護職員 障がい者居宅支援員、障がい者施設支援員			
	☐	職場復帰支援コース (※基礎コースのみ)	☐	託児サービスコース			☐	短時間訓練コース (月80時間以上100時間未満)
	☐	「企業実習促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入	☐	「職場見学等促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入			☐	
訓練科名	介護福祉士実務者研修・ガイドヘルパー養成科							
募集期間(予定)	令和7年7月3日 ~ 令和7年7月23日							
選考日(予定)	令和7年7月31日							
選考方法	☒	面接	☐	筆記試験	☐	その他 ()		
選考結果通知日	令和7年8月7日							
訓練期間	令和7年8月25日 ~ 令和8年2月24日 (6 か月) (訓練日数 107 日)							
訓練時間	9 時 45 分 ~ 16 時 25 分				訓練定員 25 名			
訓練対象者の条件	特になし							
訓練推奨者 (特定の者を想定する場合のみ)	☐	新規学校卒業者	☐	ニート等の若者	☐	障害者	☐	母子家庭の母等
	☐	被災者	☐	外国人	☐	その他 ()		
訓練目標 (仕上がり像)	介護に従事する者として必要な基礎的な知識・技能を身につけるとともに実務者に必要とされる専門的な知識・技能を習得する。企業実習や職場見学などを通して受講生自身の強みを活かし高齢者介護職・障がい者支援職など福祉業界での就労また継続した就労ができる。							
訓練修了後に取得できる資格	名称 (介護福祉士実務者研修) 認定機関 (NPO法人 あすなろ) 任意受験 名称 (移動支援従事者養成研修(ガイドヘルパー) 全身性障がい課程) 認定機関 (NPO法人 あすなろ) 任意受験							
① IT分野の訓練における基本奨励金の特例措置(IT特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)								
② WEBデザインの訓練における基本奨励金の特例措置(WEB特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)								
③ DX推進スキル標準対応の訓練における基本奨励金の特例措置(DSS特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)								
訓練内容	訓練概要	高齢者施設等で適切な介護ができ実務者研修の修得を通して介護現場で即戦力になれるよう訓練をおこなう。またガイドヘルパーの研修も修得し障がい者現場でも就業できる訓練をおこなう。日によって訓練時間が異なります。訓練実施機関にお問い合わせください。【職場見学等推進】						
	科目	科目の内容				訓練時間		
	学 科	開講式・オリエンテーション等	開講式・オリエンテーション(2H)、修了式(2H)					
		人間の尊厳と自立	人間の尊厳と自立				6時間	
		社会の理解Ⅰ	介護保険制度				6時間	
		社会の理解Ⅱ	生活と福祉、社会保障制度、障がい者総合支援制度、介護実践に関する諸制度				36時間	
		介護の基本Ⅰ	介護福祉士制度、尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開、介護福祉士の倫理				12時間	
		介護の基本Ⅱ	介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護福祉士の安全				24時間	
		コミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション技術、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション				24時間	
		介護過程Ⅰ	介護過程の基礎的知識、介護過程の展開、介護過程とチームアプローチ				24時間	
		こころからだのしくみⅠ	介護に関係した身体の仕組みの基礎的な理解(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠)				24時間	
		こころからだのしくみⅡ	人間の心理、人体の構造と機能、身体の仕組み、心理・認知機能を踏まえた介護におけるアセスメント、観察のポイント、介護・連携の留意点				72時間	
		発達と老化の理解Ⅰ	老化に伴う心の変化と日常生活への影響、老化に伴うからだの変化と日常生活への影響				12時間	
		発達と老化の理解Ⅱ	人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多い症状・疾病と留意点				24時間	
		認知症の理解Ⅰ	認知症ケアの理念、認知症による生活障がい、心理・行動の特徴、認知症の人とのかわり・支援の基本				12時間	
		認知症の理解Ⅱ	医学的側面から見た認知症の理解、認知症の人や家族への支援の実践				24時間	
		障がいの理解Ⅰ	障がい者福祉の理念、障がいによる生活障がい、心理・行動の特徴、障がい児者や家族へのかわり・支援の基本				12時間	
		障がいの理解Ⅱ	医学的側面から見た障がいの理解、障がい児者への支援の実践				24時間	
		医療的ケア	医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)、経管栄養(基礎的知識・実施手順)				36時間	
	全身性ガイドヘルパー	障がい者(児)福祉制度と移動支援事業、移動支援従事者の業務、移動支援従事者の職業倫理、障がい者の人権、障がいの理解、障がい者(児)の心理、移動介助の基礎知識				14時間		
	アングーマネジメントの理解	怒りの理解と衝動、考え方、行動のコントロール				3時間		
	就職支援	履歴書・職務経歴書の作成指導、面接試験指導(web面接による注意事項)、ジョブ・カードの概要				5時間		
	安全衛生	安全活動、腰痛予防対策、KY活動				3時間		
	実 技	生活支援技術Ⅰ 演習	生活支援とICF、ボディメカニクスの活用、居住環境の整備と福祉用具の活用の視点				24時間	
		生活支援技術Ⅱ 演習	利用者の心身の状況に応じた介護、福祉用具の活用、環境整備(生活サイクルの確認、利用者の確認、利用者の生活支援(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期介護))				36時間	
		医療的ケア演習	喀痰吸引演習(口腔、鼻腔、気管カニューレ内部)、経管栄養演習(胃ろう、腸ろう、経鼻経管栄養)、救急蘇生法演習※練習用シミュレーター人形による演習となります				39時間	
		介護過程Ⅱ 演習	介護過程の展開の実践(介護職による介護過程の進め方、介護過程の実践的展開、施設・在宅で暮らす高齢者の介護過程)				30時間	
介護過程Ⅲ 演習		介護過程の展開の実践、介護技術の評価				54時間		
全身性ガイドヘルパー演習		移動介助の基本技術、交通機関利用の介助演習				11時間		
企業実習		☐	実施しない	☒	実施する	36時間		
職場見学、職場体験、職業人講話	【職場見学】 生活支援に関する福祉用具の種類と活用方法についての見学					2時間		
訓練時間総合計	629時間	学科 397時間	実技 194時間	企業実習 36時間	職場見学等 2時間			
受講者の負担する費用	教科書代	0円			合計 400円			
	その他 (交通機関利用演習に係る交通費)	400円						
	備考 (職場見学、企業実習の交通費及び法定講習欠席に係る補講料(個人補講2,000円/1時間、レポート補講1,000円/項目 税込))							
	指導方法	☒	全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する	☐	オンラインによっても指導する(当該日通所可能・混在型)	☐	オンラインによっても指導する(当該日通所不可・単独型)	☐
施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	現場で指導にあっている講師が講義をすることで日々変化する現場の情報を得ることができる。また、企業実習にて現場研修することにより、介護業界の実践を実習することができ、自分の就職の方向性も明確にすることができる。							
受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	介護における総合知識や介護における総合実技演習において、全体的な科目内容を概観する、また相モデルで行うことにより、各受講生が苦手にしている箇所を習得することができる。							



訓練カリキュラム(企業実習用)			
訓練 内容	科目		訓練時間
	科目の内容		
	実技		
	生活支援技術Ⅱ 演習	介護現場での1日の流れの確認、および利用者への生活支援(移動・移乗、食事、清潔保持、排泄、睡眠、整容)の実践	35時間
	その他	衛生管理項目の確認、救急装置の設置場所確認、うがい・手洗いの徹底、衛生用具の使用、安全姿勢	1時間